



【感染症対処基幹要員養成訓練】

令和元年6月6日

自衛隊札幌病院(病院長:大鹿陸将)は、6月4日(火)・5日(水)感染症対処基幹要員養成訓練を実施した。

本訓練は、新型インフルエンザ等の強毒性感染症対処における初動態勢を確立することを目的として、院内の基幹要員及び北方の衛生科隊員(計45名)がPPE(personal protective equipment:個人用防護具)の着脱要領を演練した。

参加者は、PPE及びN95マスクそれぞれの正しい装脱着について反復演練し練度向上を図った。

また、感染症対策用陰圧式エアテントシステムの展張要領を演練し、テント内の空気が外にもれない様に陰圧に保ち、HEPAフィルタによるろ過、紫外線による殺菌(多目的空気清浄機)や、病室等の広範囲な環境表面を消毒できる、超微粒子噴霧除菌消毒機(シャットノクサス)などの使用方法を学び、強毒性感染症によるパンデミックへの対処の実効性向上を図った。



反復演練して実施



PPE着衣要領の説明



PPE着衣要領の説明



感染症対策用陰圧式エアテントシステムの展張



シャットノクサスによる洗浄要領



多目的空気清浄機の設置



感染症対策用陰圧式エアテントシステム